［2・3　略］

4　密度補正Ⅱに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式

$$\frac{1}{43{,}200 \times A} \times (424 \times A + 86{,}866 \times B + 642 \times C)$$

算式の符号

A　測定単位の数値

B　当該市町村における「被保護者調査」によつて厚生労働省に報告された平成28年7月31日現在の「第5表教育扶助受給人員」のうち小学校及び義務教育学校の前期課程に係る数

C　当該市町村における「平成28年度学校給食実施状況等調査」によつて文部科学省に報告された小学校及び義務教育学校の前期課程の完全給食を受けた児童数、補食給食を受けた児童数及びミルク給食を受けた児童数を合算した数

前号に準ずる。この場合において、「一四六・〇〇」とあるのは「一五四・九六」と、「児童」とあるのは「生徒」と、「小学校又は義務教育学校の前期課程」とあるのは「中学校、義務教育学校の後期課程又は中等教育学校の前期課程」と、「43,200」とあるのは「40,700」と、「424」とあるのは「1,199」と、「86,866」とあるのは「126,568」と、「642」とあるのは「761」と、「小学校及び義務教育学校の前期課程」とあるのは「中学校、義務教育学校の後期課程及び中等教育学校の前期課程」と、「児童数」とあるのは「生徒数」と読み替えるものとする。

1　密度補正Ⅱに用いる密度は、次の算式ア、算式イ及び算式ウにより算定した数（それぞれ小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式ア

$$(B \times 747 + C \times 320 + D \times 367 + E \times 41 + F \times 86 + G \times 161 + H \times 175 + I \times 69 + J \times 117 + K \times 136 + L \times 8 + M \times 58 + N \times 102 + O \times 118) / A$$

五　中学校費　生徒数

六　その他の教育費　人口

［2・3　同上］

4　密度補正Ⅱに用いる密度は、次の算式により算定した数（小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式

$$\frac{1}{43{,}100 \times A} \times (402 \times A + 77{,}993 \times B + 605 \times C)$$

算式の符号

A　測定単位の数値

B　当該市町村における「被保護者調査」によつて厚生労働省に報告された平成27年7月31日現在の「第5表教育扶助受給人員」のうち小学校及び義務教育学校の前期課程に係る数

C　当該市町村における「平成27年度学校給食実施状況等調査」によつて文部科学省に報告された小学校及び義務教育学校の前期課程の完全給食を受けた児童数、補食給食を受けた児童数及びミルク給食を受けた児童数を合算した数

前号に準ずる。この場合において、「一三九・八八」とあるのは「一四九・一三」と、「児童」とあるのは「生徒」と、「小学校又は義務教育学校の前期課程」とあるのは「中学校、義務教育学校の後期課程又は中等教育学校の前期課程」と、「43,100」とあるのは「40,400」と、「402」とあるのは「1,133」と、「77,993」とあるのは「115,573」と、「605」とあるのは「762」と、「小学校及び義務教育学校の前期課程」とあるのは「中学校、義務教育学校の後期課程及び中等教育学校の前期課程」と、「児童数」とあるのは「生徒数」と読み替えるものとする。

1　密度補正Ⅱに用いる密度は、次の算式ア、算式イ及び算式ウにより算定した数（それぞれ小数点以下三位未満の端数があるときは、その端数を四捨五入する。）とする。

算式ア

$$(B \times 754 + C \times 333 + D \times 381 + E \times 42 + F \times 87 + G \times 162 + H \times 177 + I \times 70 + J \times 118 + K \times 137 + L \times 8 + M \times 58 + N \times 106 + O \times 116) / A$$

五　中学校費　生徒数

六　その他の教育費　人口